

教育目標 ◎自分で深く考える子 ◎思いやりをもって助け合う子 ◎がんばってやりとげる子



～一人一人が輝き、幸せな学校～

# 佐々木小

令和8年3月23日  
新発田市立佐々木小学校  
学校だより 第23号



新しい登校班での集団下校

## 継いでいく！

卒業式を残して、令和7年度の教育活動が幕を閉じます。毎日6年生と学校に通った日々もよき思い出になることでしょう。

元気に学校に向かう登校班も6年生が去り、新たに新しい1年生が加わり、新しい登校班に変わります。

早速、5年生をリーダーにして、新しい登校班がスタートしました。安全な歩き方、明るいあいさつを頑張ろうと、先輩たちから引き継いできたことを全校で誓いました。

さあ、これから6年生からのたすきを引き継ぎ、新たな一步を踏み出します！



## 1年間、ありがとうございました



校長 金平 弘之郎

2月末から、インフルエンザが流行し、多くの学年で学年閉鎖措置を取らざるを得なくなりました。そのため、全校が集まった形の六年生を送る会ができませんでした。それでも、各学年が準備してきたことを紹介する場を設けたり、放送を使ったりして、みんなの感謝の思いを伝え合うことができました。これもきっとよき思い出になることでしょう。

さて、明日の卒業証書授与式を最後に令和7年度の教育活動が終了します。まずは、子どもたちに交通事故などでの大きな事故や怪我がなかったことをとてもとても嬉しく思います。これも、いつも子どもたちのことを温かく見守ってくださった保護者の皆さま、地域の皆さまのおかげです。大変ありがとうございました。

佐々木小学校では、この3月で6年生が卒業します。教職員の中にも佐々木小学校から離れる者もいます。PTAの役員や専門部の方々も代わられます。学校を見守ってくださった区長様方も代わられることでしょう。

3学期は、児童会の引継、PTAの引継もありました。引継の様子から、人が代わっても、佐々木小学校、佐々木小学校PTA、佐々木コミュニティは、今まで同様、そのよさを変えずに続いていくのだと実感しました。いつまでも地域一体であり、地域で子どもたちを育てていこうとする強い絆があることが、佐々木地区の素晴らしいところだと感じています。

そして、この佐々木小学校は、令和8年度で創立125周年を迎えます。先に述べたことと同様、その長き伝統を築いてきた教育目標「自分で深く考える子」「思いやりをもって助け合う子」「がんばってやりとげる子」の具現化を図るために、今年度を振り返り、継続するもの、改善するもの、新しく取り入れるものなどを洗い出し、時代の要請に見合った令和8年度の教育活動を計画していきます。

この時期は、私に担任から、この子がこんなことをできるようになった、こんなよさがあった、こんな活躍をしたなどと、一人一人の成長した姿をたくさん伝えてもらえます。その姿を語る担任は笑顔満面です。子どもたちが成長し、学力や生活力を付けていくことは、私たち教師にとって何よりも嬉しいものです。この子どもたちの伸びた姿をしっかりと次年度に引き継いで、子どもたちの成長が停滞することのないようにしていきます。

子どもたちと共に佐々木小学校もぐんぐん成長します。ぜひ、来年度も佐々木小学校の教育活動にご理解と温かいご支援をお願いいたします。

明日は、いよいよ卒業証書授与式です。この1年間、リーダーとして全校を引っ張ってきてくれた15名の6年生を立派に佐々木小学校から羽ばたかせてあげたいと思います。

そして、これから迎える春休みを、進級、進学への希望を膨らませながら、健康や安全に気を付けながら過ごしてほしいと思います。令和8年度の始業式の日には、期待に満ちた笑顔で登校する子どもたちの姿が見られることを楽しみにしています。ありがとうございました。